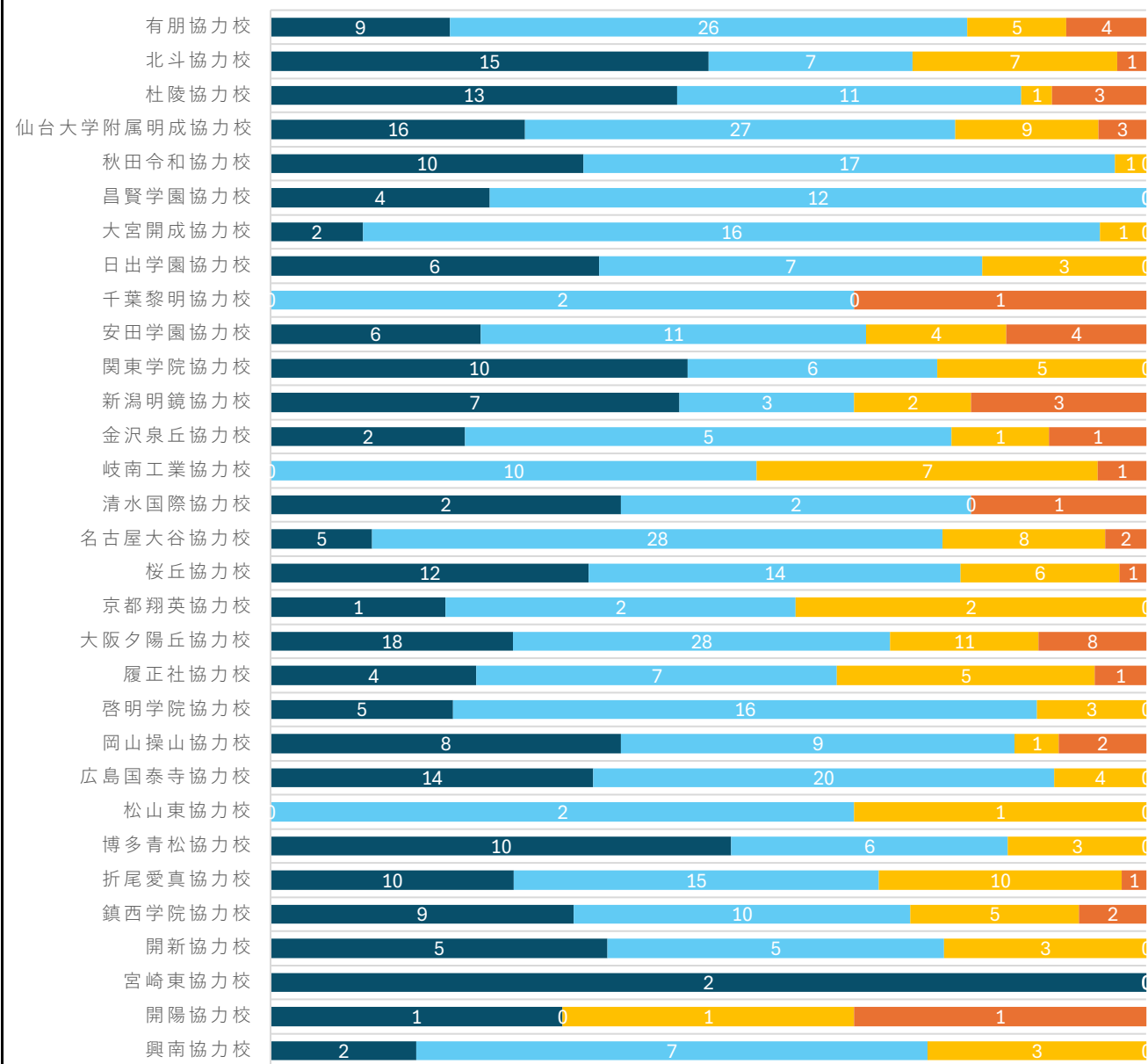


2025年度 スクーリング会場別評価

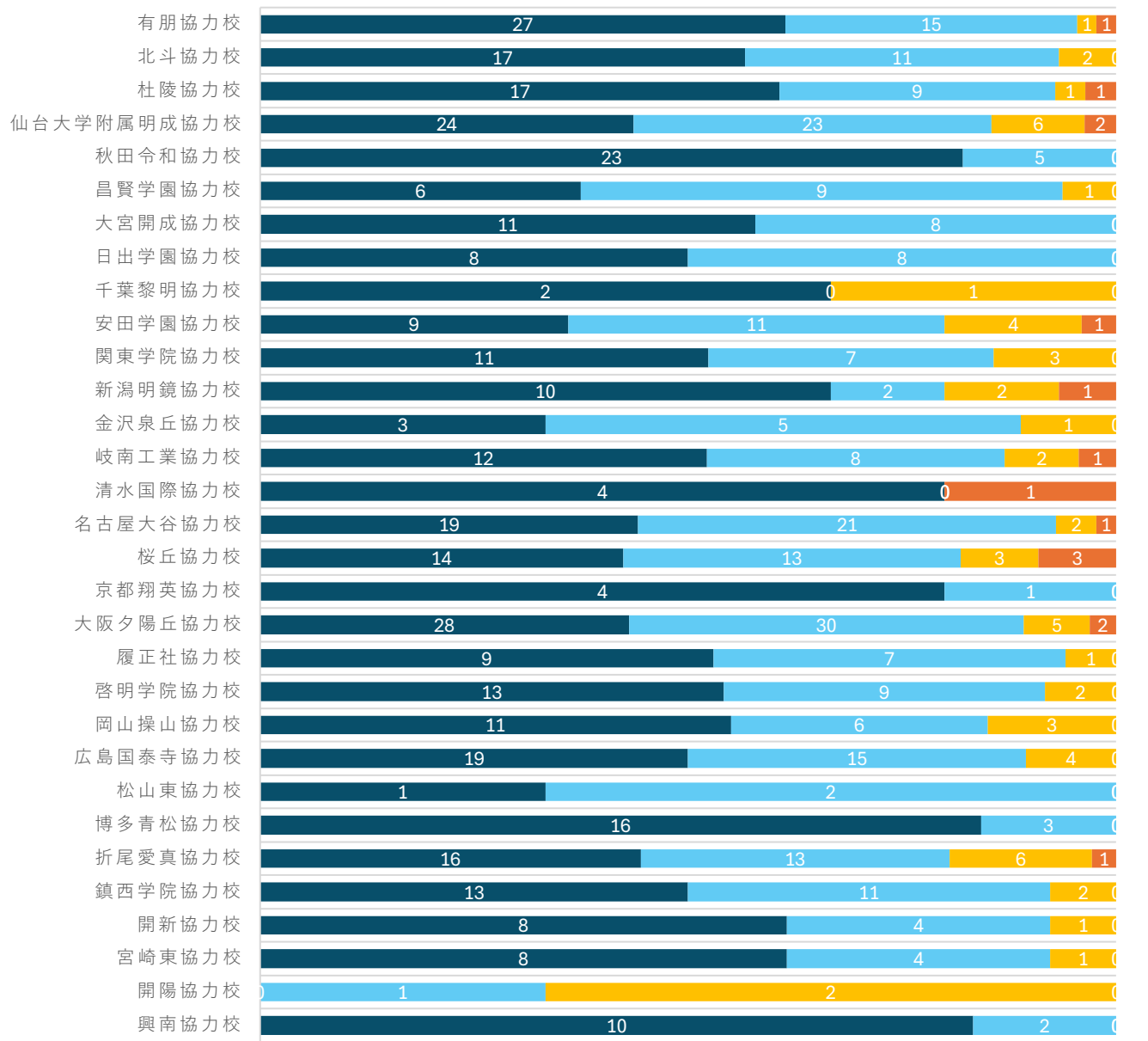
NHK学園高等学校のスクールミッションや事業計画、前年度の学校評価で明らかになった項目を踏まえて、生徒、保護者、教員を対象に2025年10月17日から11月24日までインターネットでアンケートを実施しました。このうちスクーリング会場別に確認すべき主な項目について生徒アンケートの結果をまとめました。グラフ上の数字は、回答した生徒の数です。前年度の結果から見えた課題に対する今年度の取り組み、今回の学校評価を踏まえた次年度への課題と改善方針についてもまとめましたので、ご覧ください。

課題	具体的取り組み	次年度への課題と改善方針
<p>・「通信教育実施計画」については、その内容を単年度ごとに見直し、指導内容の精査とともに、各科目間における記載事項の統一を図り、各協力校での指導に十分に活用できるようにする。</p> <p>・観点別評価を導入したレポート課題については、継続して各教科・科目でその内容と生徒の理解度等を考慮し、適切な教材設計となっているかを検証して次年度のレポート教材作成に生かしていく。その他のオンラインコンテンツについても基本的には継続していくが、生徒の利用度や反応も見極めて、より充実した活動や必要な情報が的確に提供できるよう改善していく。</p> <p>・本校と協力校の担当者との間で様々な会議で共有した課題について、各協力校の状況等を踏まえ改善に向けた解決策を協働で検討し実行する。</p> <p>・文部科学省の「通信制高等学校の学び充実支援事業」の2年目として、生徒数の多い拠点地域で「居場所カフェ（よりみちカフェ）」を試験的に実施し、協力校での体制等ふくめ、実現の可能性を探る。</p> <p>・本校で実施した「SOSの出し方教育」を協力校のホームルームで実施する。</p>	<p>・前年度より、各協力校のスクーリング講師向けにネット学習システム（「N学オンラインスペース」=NOSと呼ぶ）のアカウントを発行し、システム内のTeams利用の周知、教材等の資料共有の本格運用を行い、引き続き教育指導の標準化を図っている。「通信教育実施計画」についても、印刷したものを郵送する他、NOSにデータを置いて共有し、閲覧、ダウンロードできるよう進めた。</p> <p>・次年度のコース再編に向けて、登校コース向けNHKリレー講座を全国配信したりするなど、引き続きオンラインコンテンツを充実させた。また、全国の生徒が参加するオンラインセッションの実施をさらに充実させた結果、生徒アンケート結果から、「オンラインでの特別活動へ参加した」との回答者が、前年度比で3ポイント上昇した。</p> <p>・大阪夕陽丘協力校で「居場所カフェ（よりみちカフェ）」をスタンダードコースのスクーリング時に6回開催し、生徒から良好な反応が得られた。また、「SOSの出し方教育」を協力校のホームルームで実践することができた。スクールカウンセラー（SC）が常駐していない杜陵協力校に「まなびや仙台」のSCを派遣して、保護者向け講演会と相談会を実施した。文部科学省事業の一環としてライフデザインコース指導部長オンライン会議を開催し、課題共有しながら指導の標準化に向けルールブック全国版を作成した。</p>	<p>・協力校におけるスクーリングおよび特別活動の実施状況について、「通信教育実施計画」の指導内容が、計画に基づいて確実に実行されているかの確認・点検を実施し、計画との差異があれば改善を図っていく。また、共有データの利用率向上に向け、サポート体制を整えていく。</p> <p>・2026年度に開講する「オンラインプラス」に関しては、これまでの取り組みを生かして教育内容の質的向上を図り、全国からの新入生が幅広く選択可能となるよう、魅力ある教育コンテンツの企画・充実に継続的に取り組む。</p> <p>・文部科学省の「通信制高等学校の学び充実支援事業」は最終年度となる。生徒支援の充実に向けて様々な会議で共有した課題について、各協力校の現状を踏まえ改善に向けた解決策を検討し実行する。</p>

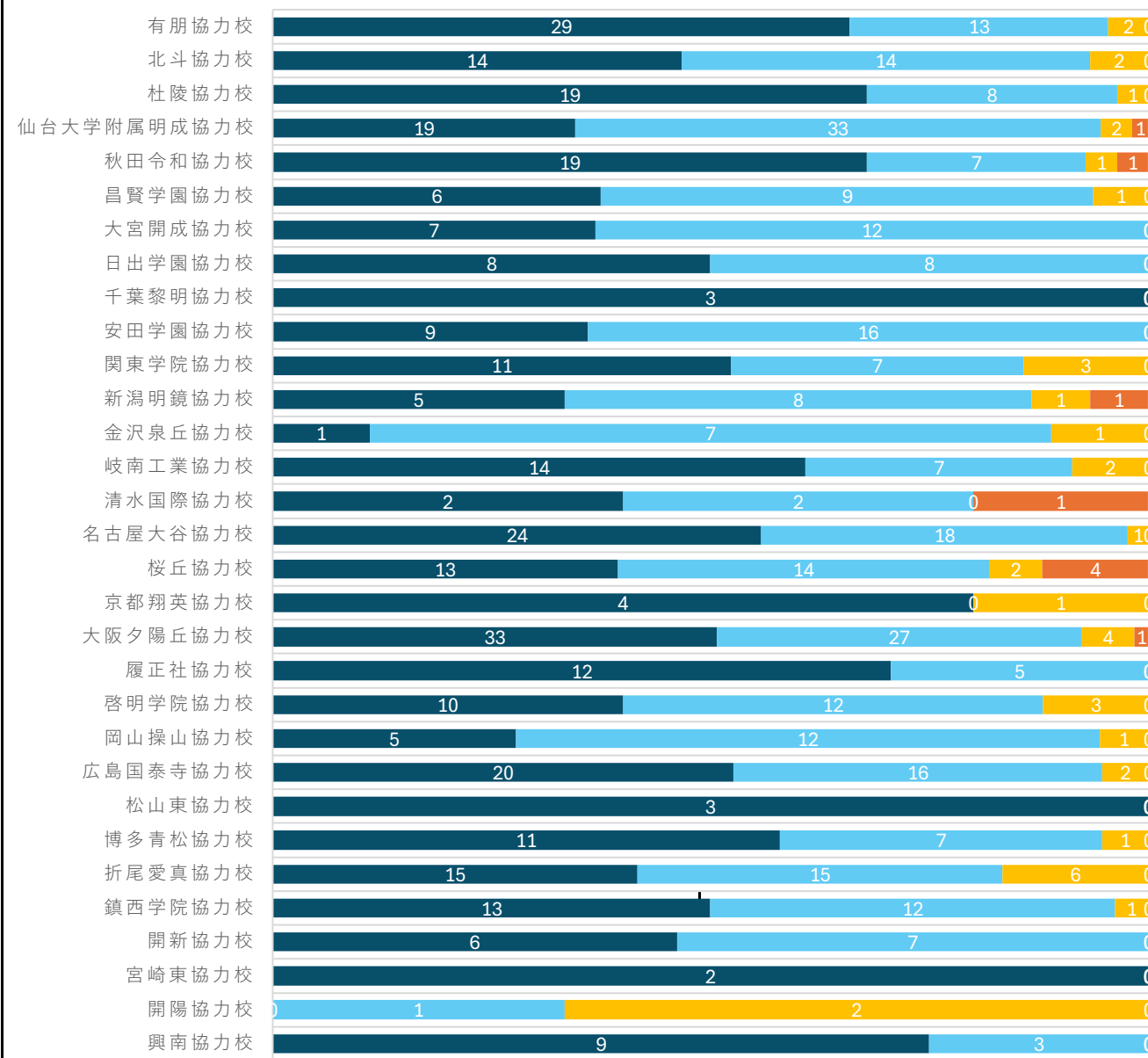
年度末試験スクーリングでは放送視聴やレポートにおける疑問点や不安を解消することができますか。



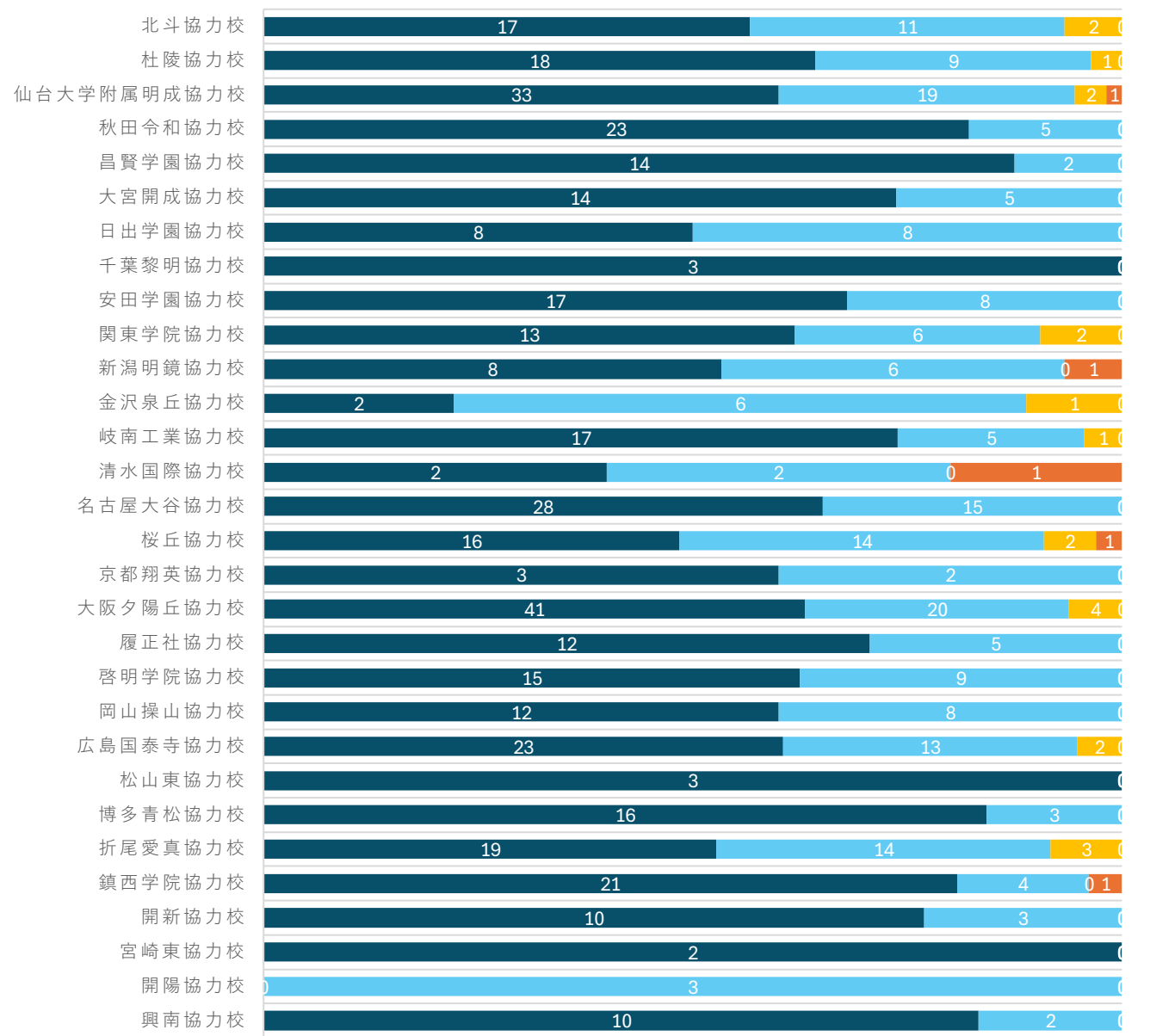
スクーリング会場の学習環境に満足しています



NHK学園は自分にとって安心できる学びの場ですか



NHK学園高等学校に入学して良かったですか



凡例 ■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない